日中友好新聞
府連通信
2026年１０月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info
@jcfaosaka.org
ホームページ
http://
jcfaosaka.org/

第２回米中首脳会談を読む

大阪府連会長　山本恒人

トランプ大統領異例の空港出迎えニュースは、改めて「米国に並び立つ中国」という印象を世界に呼び起こした。

経済面を中心に両国の連携発展に動く

ホワイトハウスが発表した首脳会談「成果文書」には、11月の米国中間選挙を控え、物価高と消費低迷に苦慮するトランプが、強く期待する米中貿易戦争（関税・報復関税）の棚上げ、米側の石炭・農産物の大量安定輸出、中国側の消費財大量輸出とレアアース輸出規制の緩和等の取り決めが盛り込まれた。

詳細は別の機会とするが、両国はまた話題のＡＩ暴走など未来リスクに対して「人工知能（ＡＩ）」ではなく「スーパーインテリジェンス（ＳＩ）」という用語を用いて、ＳＩ事故対応の二国間チャネル確立に同意した。

さて、５月の第１回米中首脳（北京）会談で、習近平主席が提起した台湾問題（両国関係では「台湾問題が要」であり、その「処理を誤れば米中は衝突に至る」）は、第２回首脳会談ではどうなったのであろうか。

米国・成果文書に言及はない。

習近平は引き続き台湾問題の慎重な処理を強調

第２回首脳会談冒頭、習近平主席は「米国側が台湾独立に反対するという正しい立場を堅持し、台湾問題を慎重に処理することを望む」と迫った。

従来米国は「台湾独立を支持しない」と言ってきたが、さらに正しい立場「台湾独立に反対する」立場に立ちなさい、と主張している。

「支持しない」と「反対する」とはどうちがうのか。

習近平の「要請」の内容は５月会談時よりさらに厳しい

米国は１９７９年に中国と国交回復し、同時に台湾と断交した。ただし、米国国内法として「台湾関係法」を制定、台湾に武器を売却して事実上の台湾防衛にも関わり続けたのである。

国交のある中国と防衛に関わる台湾との軍事的バランスを取る戦略である。つまりは「台湾の独立を支持しない」ことがこの戦略の成立要件となっている。

トランプが行う台湾への武器売却もこの戦略に沿っている。

ところが「台湾の独立に反対する」というのは、このいわばあいまい「戦略」を放棄して、「一つの中国」原則すなわち「台湾は中華人民共和国の領土の一部である」という立場に立ちきることなのである。

習近平はトランプ政権にこのような変更を鋭く迫ったのである。

トランプは台湾問題にダンマリをきめこまざるをえない

第１回首脳会談では、トランプは「台湾問題も取引次第」としたのだが、習近平は第２回会談冒頭に台湾問題の要は「台湾独立に反対する」のかどうか、と再び迫った。

トランプは成果文書でこれを全く無視したのだから、場合によっては「米中衝突も辞さない」と宣言したともいえる。

これは世界と米国の世論には受け入れられない。

「すべてはディール（交渉）」のトランプ、どうする？

城北支部　日中を つなぐ 文化のつどいを成功させよう

11月３日（火）12時開場、13時表演でエルおおさか南館５階ホールにて「２０２６日中をつなぐ文化のつどい」が開催されます。城北支部からは中国語サークルによる中国語の歌３曲を舞台で披露します。また「ひまわり合唱団」による合唱にも城北支部有志が参加します。

展示会場では最近発足した川端一歩先生による日中城北支部川柳サークルの作品、切り絵サークルの作品など13部会員の内藤久雄さんの満州時代の資料も展示します。

舞台と展示の両方で参加する城北支部の活発な支部活動をアピールします。舞台、展示ともまだ空きがあります。チケット普及もこれからです。出足が遅れていますが参加された皆さんが楽しめるよう頑張ります。

（文化のつどい城北支部担当委員　柳基世）

太極拳本部指導員研修　山形で開催

今回の本部指導員研修はヒルズサンピア山形で開催されました。１日目は11月に開催される「50周年記念全国交流会」の音合わせや、各教室から出された太極拳の疑問の解説がありました。他府県の教室の方々は教科書を良く読み、毎回疑問も沢山提議されています。

２日目は恒岡先生の24式の型の意味の紹介と対人練習で、24式の套路を追いながら型の意味を紹介し、実際に対人で型の掛け合いを経験させてもらいました。

対人練習をすると套路の型と型の間が如何に大事だと再確認します。

懇親会では各教室が50周年交流会に向けての取り組みなどが熱く紹介されました。次の記念交流会にも是非参加できるよう健康の為に太極拳を続けていきましょう。（Ｈ）

全国からの参加者は46名、大阪５名、和歌山２名が参加しました。

中国建国77周年祝賀レセプション

中国駐大阪総領事館は９月24日、ホテルニューオータニ大阪で、中華人民共和国建国77周年（10月１日）を祝うレセプションを開催、会場には７００人を超える来賓や招待者らが集まり、盛大な祝賀ムードに包まれた。

薛剣（せっけん）総領事は、「新中国の建国以来77年間、中国は『立ち上がり、豊かになり、そして強くなる』という歴史的飛躍を遂げた。『中国式現代化』の推進により、14億人の人口を抱える大国として急速な発展を実現してきた」と強調しました。

（関西プレスクラブから）



関西ブロックから花輪を贈呈
京都府連２名、大阪府連５名、兵庫県連２名がレセプションに参加しました。

中河内支部　月見の会で楽器演奏

９月25日、枚岡の自然と文化を大事にする懇話会と、年金者組合の主催で月見の会が開催され、そこへ楽器を楽しむ会に演奏の依頼があり参加しました。

小部さんの尺八、竹内さんのフルート演奏、竹内さんは選曲の趣旨を説明して吹きたいとの事でした。

「イムジン河について１９６８年朝鮮半島から日本へ渡ったのはただの偶然ではない、統一を望む民族の願望が分断の原因を作ったのは日本にある。そのけじめをつけさせねばとの思いで選曲しました」と説明。

吹き終わった後アンコールの声がかかり、カチューシャ（ロシア）を演奏、こんな場面は初体験と。

40年以上中断していた楽器演奏の再開は日中のおかげと感謝されました。（栗山　俊子）

中国百科検定ネットで学びましょう

日中友好協会主催の対策講座「汉语　中国のことば」

講師：小林二男先生

（東京外国語大学名誉教授）

百科検定で出題された中国のことばに関連した問題を解きながら、中国の共通語、方言、文字、発音、発音表記などについて学びます。

10月17日　2時～3時半

ズーム８７４７２７７３０１４

パスコード　９９４８９８

女性部学習会　日中戦争へと向かう中、女性の生き方を描いた女性作家たち



9月20日ラブリー中国～短編小説で読む中国女性作家第２回学習会を行いました。

五・四運動期以降、進歩的青年の理想であった自由恋愛、自由結婚が、都市部を中心に実践されていきます。その結果、女性を抑圧し、商品化する危険が潜んでいることが文学の題材になり始めます。

１９３７年に日中戦争が勃発すると、抗日・救国が文学の重要な課題となり、女性作家も抗戦をテーマとした創作をおこなうようになります。

蕭紅（しょうこう）の『手』と丁玲（ていれい）写真）の『霞村にいた時』を読みました。

参加者の感想

「日中戦争の時代に中国に於いても女性たちは虐げられていた事がよくわかった」「知らない事も多いが時代背景を言って貰えるので文学の中身も分かり易くなります」「制約もあり厳しい作家の生活の一端を、詳しく解説される高田先生の言葉にひかれました」「作品の背景その時代を知ると、より作品に深みが増し、おもしろさが増幅されます。下から支持された小説は強いですね。貞貞の凄まじい気力には驚くばかりです」「奈良で長谷川テルの顕彰の会の会員でちょうどテルが活動した重慶での活動と重なり、とても興味深い時間でした。次回も楽しみに参加したいです」「宋家の三姉妹については知っていましたが、女性作家については何も知りませんでした」「先生が『中国でも韓国でも政治・歴史と離れた文学はあり得ない。日本は違う』と仰った。私もそう思います」（大出 崇夫）

次回は11月15日（日）13時半から大阪府連２０５号室

王安憶『あの世の契り』と、遅子建『花びらの晩ごはん』を読みましょう。

どなたでもご参加いただけます。

大阪西支部　26年度 定期支部総会

大阪府連大阪西部総会はシルバーウイーク最終日9月23日、大阪府連文化教室で19名の出席のもと開催いたしました。

府連からは近藤事務局長が出席、西区の憲法９条守る会からメッセージをいただきました。

総会運営、議長・資格審査・選管・議運すべて女性委員が担当しました。

議案提案はパワーポイント70コマにして西支部活動の１年を紹介してから討論に入りました。

百科検定、文化の集いの取り組み、最近の中国事情、平和展、中国旅行、太極拳、きりえ、中国語教室、書道、ニュース、11月開催される太極拳50周年記念交流会への練習の取り組み等13人から発言がありました。

他にも２世支援およびパンダ署名への御礼もありました。

大会議案・決算・予算の採決を行い新役員を選出しました。

最後は永年表彰者に西支部恒例の似顔絵にお祝いの寄せ書きをして表彰状とともにお渡しいたしました。

大会で選出された新役員

支 部 長　恒岡正勝
副支部長　原久仁寿
事務局長　平松悦雄
事務局次長　山本範枝
幹　事　尾中妙子　澤野井公夫　植田智子　小林明美　林　英子　松原弥寿夫



中国の星物語 10回シリーズ　第６回

牽牛織女（けんぎゅうしょくじょ）



夏の夜、北東から南西にかけて大きな淡い光の帯が輝きます。天の川です。織女星はこと座のベガ、牽牛星はわし座のアルタイルです。どちらも１等星で、天の川をはさんで瞬きあっています。はくちょう座のデネブは二人をつなぐカササギに見立てられています。織女星と牽牛星の実際の距離は16光年（光が16年かかって届く距離）です。

天の川を渡るのは中国では織女ですが、日本では牽牛です。婚姻スタイルが中国では娶嫁婚、日本では妻問婚であることに関係しているようです。

『詩経』小雅の「大東」に織女と牽牛が登場していますが、織女は蚕桑の象徴、牽牛は農耕の象徴にすぎませんでした。夫婦星になるのは漢代です。

「古詩十九首」其十に、織女の思いに託して「天の川は澄んで水底浅く、向こう岸までさほど遠くもない。なのに水を湛えた一筋の流れに隔てられ、見つめるだけで言葉も交わせない」とあります。（岩波文庫『文選』より）

織女にあやかって技芸上達を願う宮中行事が乞巧奠（きっこうでん）です。それが奈良時代の日本に伝わりました。現代のような七夕祭りとなったのは江戸時代後期です。

古代の日本で詠まれた七夕の歌を紹介します。

『万葉集』巻十は歌を四季に分け、さらに雑歌と相聞に分けていますが、秋雑歌には題詞「七夕」が九十八首あります（歌番号一九九六から二〇九三）。巻八にも山上憶良の七夕歌が十二首あります（同一五一八から一五二九）。その一五一八です。「天の川相向き立ちて我が恋ひし君来ますなり紐解きまけな」意味は「天の川に向かい合って立ち、私が恋しく慕っている君がいらっしゃるようだ。衣の紐を解いてお待ちしよう」です。

（高田 佳誉子）

あべのピースフェスタ



あべのピースフェスタは９月13日、あべの市民学習センターで開催、午前はドキュメンタリー映画「アレン・ネルソン 9条を抱きしめて」を上映。元海兵隊員アレン・ネルソンが語る戦争の真実と、上映後に監督の阿部裕一さんが映画制作のいきさつをお話しました。

午後はパネルディスカッション「戦争と平和の時代 そして今を考える」をパネリストの大谷英一医師と戦後世代、若者世代がそれぞれスピーチしました。

展示は新日本婦人の会阿倍野支部、年金者組合阿倍野支部、東アジア青少年歴史体験キャンプ、後援会ニュース「あべの村」編集部、日本コリア協会・大阪、大阪宗教者平和協議会、日中友好協会大阪府連合会が担当しました。

日中友好協会大阪府連合会の展示は、反戦平和を訴えた日本人女性、世界反戦平和のシンボル「長谷川テル」日中戦争時中国本土にて日本兵士にラジオ放送で反戦平和訴えました。エスペラントで世界に反戦平和・女性解放を叫びました。しかし日本では教えない・伝えない、私たちが伝えます。

（H）

